



12月議会 一般質問 (菅井 巖議員)

養護老人ホームの増設必要、入居待ちの状況は

健康福祉部長「待機期間の長期化が課題。特養への移行進め、待機の短縮を図る」

鶴岡市議会12月定例会6日の一般質問で、日本共産党の菅井巖議員は、①高齢者の暮らしの現状と支援、②市民の健康づくりの取り組みについて、取り上げました。

高齢者1人暮らしの支援は



問 昨年報告された介護予防・日常生活圏域ニーズ調査を見ると、高齢者1人暮らしの人

が増えている。年金などの収入が少なく、金銭的な心配を抱えている。生活支援や、生活保護申請、財産や金銭管理の活用、生活状況に合わせた住まい探しなどに課題がある。

答 地域包括支援センターに生活支援コーディネーターと、地区担当のコミュニティソーシャルワーカーを中心に、在宅生活の支援

知事選で批判されるべき政党は



▽1月26日夜、山形市内でおこなわれた「県知事選挙開票を見守る会」に出席。選挙結果は明白でしたが、挨拶で声を話まらせる知事の姿に、首長の責務の重さを垣間見た感じがしました。会自体は30分で終了しましたが、鶴岡帰着は23時になりました。

▽首を傾げたのは翌日の一部マスコミ報道です。「相乗り」や「政党が候補者擁立の役割を果たさなかった」と、すべての政党を批判する主張があったことです。

今回問われるべきは、16年間知事に政府への追従を迫り、前回選

挙では知事にありつただけの非難を浴びせておきながら、今回は知事の「支援」に転換した自民党です。しかもその理由は、「候補者がいなかった」、「今年の参院選など」選挙がある」というあからさまな党利党略です。

共産党県議団は、吉村県政16年間の成果と課題を改めて検討し、知事に、県民の暮らし最優先の立場に変わりが無いこと、自民党に推薦依頼を出さない事などを確認して支援を決定しました。そこに、党が対立候補を擁立する理由はなく、「相乗り」などでは全くありません。

▽党県議団は、吉村県政に是々非々のスタンスを保ちながら、「選挙で支援した」と知事に妥協・変質を迫る自民党とたたかい、暮らしを守る施策の発展に努力します。

(県議 関 徹)

を行っている。

入院を契機に認知機能の低下が確認され、退院後の金銭管理やサービス利用手続が難しい場合には、医療機関から包括支援センターや市が相談を受け、成年後見制度の利用につながる対応をしている。

利用手続を行う親族がいない場合などは、鶴岡市長が申立人になり、制度利用につなげており、昨年度は12件対応している

問 経済的理由を抱える人が増えており、措置制度の下で入所できる養護老人ホームの増設が必要だ。

答 養護老人ホームの入居待ちの状況はどうか。

健康福祉部長 養護老人ホームは、65歳以上で身体状況がおおむね自立をしている人で、

保健衛生推進員の活動実態は

問 党市議団で11月、長野県須坂市を視察し、保健指導員制度について聞いた。

66年間にわたって、地域、集落での保健活動や健康づくり活動が、自主的、主体的に行われてきた。

健康づくりが介護予防につながる、地域での「つながる」関係性や、近所同士の信頼関係も大幅に上昇している。

環境や経済の理由で自宅生活の難しい人の住まいを確保するため、市の措置で入所する施設である。

市には、養護老人ホーム「ともえ」と、「思恩園」の2施設があり、入所定員は令和4年度に120人から100人にした経過がある。

その理由として、長期入所で要介護度が高くなった人には、特別養護老人ホームの利用(変更)が必要となり、移行にむけて定数を減らしてきた。

入所待機者が現在34人おり、待機期間の長期化が課題となっている。

施設と連携を図り、状況を把握しながら、本人に適したケアや特別養護老人ホームへの移行を進め、入所希望者の待機期間の短縮を図っていきたい。

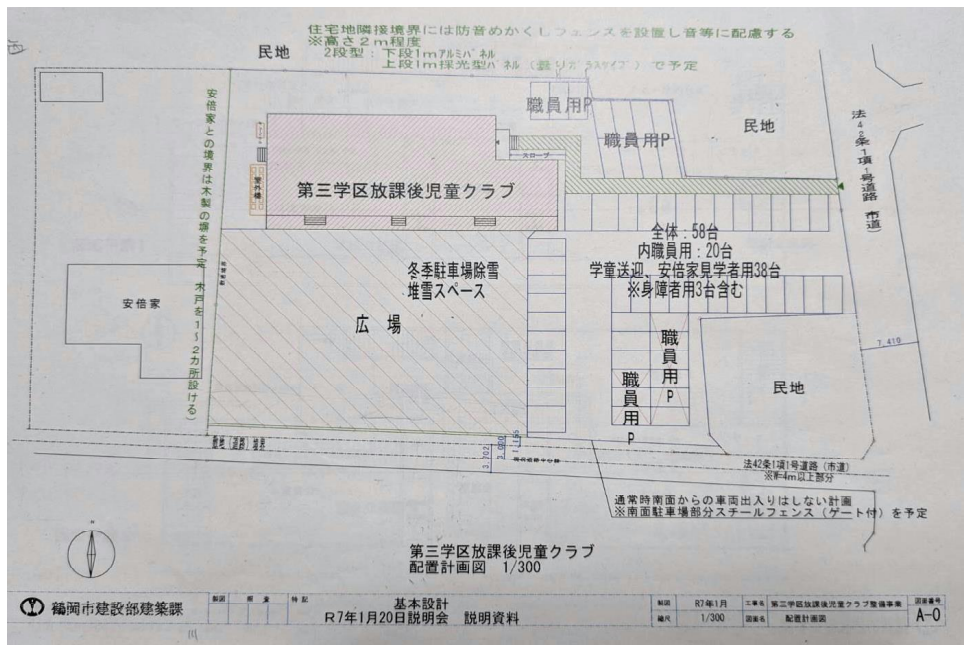
鶴岡市の保健衛生推進員の活動も、つながり作りが大変重要な取組になる。

保健衛生推進員会の組織体制や、活動を支える市の体制と保健師数、各町内会等での保健衛生推進員の活動実態はどうか。

健康福祉部長 保健衛生推進員は、町内会や自治会の推薦で、現在897人が活動している。(2面につづく)

若葉町に放課後児童クラブの施設整備

第三学区放課後児童クラブ・周辺環境整備事業住民説明会



第三学区放課後児童クラブ配置計画図(鶴岡市)

会教育課からそれぞれ説明が行われました。

参加者からは「屋根からの雪や水の流れが心配であるため、側溝整備が必要ではないか」、

「工事期間中及び整備後の周辺の安全確保は万全にしてほしい」、「児童クラブ周辺の道路は危険性を増している。こどもの安全を確保してほしい」、

「今後もその都度説明会を開いて欲しい」等の声がありました。今後も住民説明会を行う事が確認されました。

第三学区放課後児童クラブ及び周辺環境整備事業について20日、総合保健福祉センターにてふるで住民説明会が行われ、坂本昌栄議員が参加しました。

第三学区児童保育の会では、3つの施設で4支援(登録児童206人)を運営しています。

施設の老朽化と狭隘化、未耐震であること等を理由に、鶴岡市は新たな施設整備を進め、移転することを表明していました。

市は、第三小学校の近隣の若葉町地内(松本十郎生家跡地)に、第三学区放課後児童クラブ(受け入れ200人程度)の専有施設を整備するとしています。併せて、こどもの広

場の提供や、市指定文化財(史跡)安倍家住宅整備、安倍家見学者向け駐車場を含む駐車場整備や、市道の歩道整備等について、子育て推進課・建築課・社

党市議団では、放課後児童クラブはこども

の放課後を過ごす家庭であることを重視し、専用の遊び場(200人)確保を、施設整備と一体的に行う必要があると考えています。

党市議団では、放課後児童クラブはこども

「人材育成へ公的支援」など切実な要望

市議会産業建設委と出羽商工会が懇談会

市議会産業建設常任委員会(佐藤昌哉・委員長)の委員と、出羽商工会(成澤剛・会長)の役員との懇談会が23日、開催されました。

懇談テーマは、昨年10月に出羽商工会が市と市議会に提出した令和7年度の要望事項についてです。

要望では、「鶴岡市ががんばる中小企業応援補助金」の継

続、

店舗や工場の改装費用への拡充、公共事業の地場企業への優先発注の継続、商業・観光振興対策、

技術者養成と事業継続に向けた人材育成・確保、事業継承や創業支援、中小企業・小規模企業振興条例の早期制定

(1面のつづき)

連合会は、鶴岡21地区と庁舎5地域の26地区で組織構成され、各地域から1人ずつ理事が選出され、会長、副



野菜を先に食べよう：須崎市

会長、会計ほか3つの部会を設置し、健康課が事務局を担っている。

担当する保健師は26人で、地域の健康課題をテーマに、健康教室などの企画運営と、健康まつりなどを一緒に行っている。

町内会単位の推進員の事業は、特別なメニューはないが、町内会行事に参加・協力をしながら、健康づくり啓発といった活動を行っている。

定されている状況からも、自治体の理念として太く位置づけをするためにも必要であることが成澤会長から述べられました。

菅井巖市議が参加し懇談をしました。

宿泊事業者からは、出羽三山への公共交通の不便さ、観光アクセスへの影響と課題が述べられ、解消に向けた訴えがされました。

中小企業・小規模企業振興条例については、出羽商工会での調査で県内20の市町村が制

建設課入札結果 () 内は予定価格

1月23日入札分

- ・第三学区放課後児童クラブ整備事業実施設計業務委託(若葉町15-34ほか)(入札12業者うち1業者辞退、1業者無効) HARADA・ARCHITECTUREGROUP(株)14,200,000円(16,004,900円)期間~8/29(落札率88.72%)
- ・市朝日庁舎・消防署朝日分署付帯外構機械設備工事(下名川字落合1番地ほか)(入札7業者うち1業者欠席) 青山工管(株)8,970,000円(9,160,000円)工期~7/31(落札率97.93%)
- ・市朝日庁舎・消防署朝日分署付帯外構整備工事(下名川字落合1番地ほか)(入札9業者うち3業者辞退)(株)伊藤組82,000,000円(82,570,000円)工期~7/31(落札率99.31%)